

日本医学会だより

JAMS News

2013年5月 No. 49
日本医学会

◆第 80 回日本医学会定例評議員会

平成 25 年 2 月 20 日に開催された。平成 24 年度年次報告、平成 25 年度事業計画の報告の他、第 29 回日本医学会総会準備状況の説明があった。平成 24 年度新規加盟学会は、日本放射線腫瘍学会、日本臨床スポーツ医学会、日本熱傷学会、日本小児循環器学会、日本睡眠学会、日本磁気共鳴医学会の 6 学会が承認され、118 学会となった。また、日本医学会法人化について協議され、分科会の負担金についての提案が了承された。

◆第 29 回日本医学会総会 2015 関西

第 29 回日本医学会総会は、平成 27 年 4 月 11 日～13 日、井村裕夫会頭の下、「健康社会のためのきずなの構築—医学と医療制度の未来を拓く」をテーマに、関西地区で開催することが決定しており、公開展示やイベントについて説明があった。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成 24 年度第 1 回日本医学会加盟検討委員会は、平成 24 年 11 月 28 日に開催された。加盟申請の 28 学会についての審査を慎重に行い、その結果を平成 25 年 1 月 16 日の日本医学会協議会で高久会長に報告した。

◆日本医学雑誌編集者会議

2013 アジア太平洋医学雑誌編集者会議 (APAME)・日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) 合同会議を、医学情報発信における医学雑誌編

集者の役割を考え、かつ最新情報を広く深く交換できる集まりになることを目的として、平成 25 年 8 月 2 日 (金)～4 日 (日) に、日本医師会館大講堂他にて開催する。

8 月 2 日に WPRIM/APAME General Assembly, 8 月 3 日に、APAME/JAMJE Joint Session, 8 月 4 日に、APAME/JAMJE Joint Session をそれぞれ予定している。

◆日本医学会臨床部会運営委員会

臨床部会運営委員会は、日本医学会分科会の 10 の基本領域学会と 2 つの subspecialty 学会から構成されている。昨今、個人のゲノム解析が容易となる一方で、法制、行政、倫理、教育面などの社会的基盤としての整備が不十分であることから、遺伝情報の取り扱い、検査の質保障、提供体制などに取り組むことを目的に運営委員会の組織として平成 23 年度に「遺伝子・健康・社会」検討委員会が設置された。本年 3 月からはその下部組織として「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会が発足した。

◆日本医学会利益相反委員会

日本医学会利益相反委員会は、平成 25 年 1 月 31 日開催の第 7 回委員会において、「日本医学会分科会における COI マネージメントの現況とその課題」並びに「日本製薬工業協会の会員会社へのアンケート調査結果について」の 2 つの委員会報告案について協議し、3 月に日本医学会ホームページにて両報告を公開した。

内容は、過去3年間の日本医学会分科会宛アンケート調査結果の解析と、平成24年10月に実施した日本製薬工業協会会員会社宛アンケート調査結果の解析である。

◇日本医学会医学用語管理委員会

平成24年12月4日に平成24年度日本医学会分科会用語委員会を開催した。主な議題は「日本医学会医学用語辞典と日本形成外科学会用語集との統合について」「用語の採択法について」「日本小児科学会での取り組みについて」「日本医学会用語辞典アップデート」「解剖学用語が目指してきたもの」「日本医学雑誌編集者会議とその課題について」。

◇第15回日本医学会公開フォーラム

「高齢者の疾患—生活の質の向上のために—」をテーマに、平成25年6月15日(土)13:00~16:00、日本医師会館大講堂において開催する(組織委員長:大内尉義・国家公務員共済組合連合会虎の門病院長)。市民を対象とした公開フォーラムであり、参加希望者は、郵便はがき、FAX、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)のいずれかの方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、ホームページにて映像配信する。

1. はじめに一高齢者の健康を守るために/大内尉義(国家公務員共済組合連合会虎の門病院長)、2. 高齢者の肺炎の予防と治療/海老原 覚(東北大学大学院医学系研究科講師・内部障害学)、3. 骨粗鬆症の予防と治療/細井孝之(独立行政法人国立長寿医療研究センター臨床研究推進部長)、4. 認知症の最新情報~早期診断から予防まで~/浦上克哉(鳥取大学医学部保健学科教授・生体制御学)、5. 高齢者における生活習慣病/横手幸太郎(千葉大学大学院医学研究院教授・細胞治療内科学)

◇第144回日本医学会シンポジウム

「臨床応用をめざしたiPS細胞研究」をテーマに、6月6日(木)13:00~17:00に日本医師会館大講堂において開催予定。組織委員は、小室一成、中内啓光、岡野栄之の各氏。参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。申し込み・詳細は日本医学会ホームページご参照。

◇医学賞・医学研究奨励賞

平成25年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞(旧医学研究助成費)の推薦依頼を『日本医師会雑誌5月号』に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は、5月15日~7月5日。推薦書は、公示日より日本医師会ホームページ(<http://www.med.or.jp/>)からダウンロードできる。

◇日本医学会への加盟申請

平成25年度の日本医学会への新規加盟申請は、5月15日に公示(『日本医師会雑誌』等)し、7月31日に締め切る。申請書は、公示日から本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)からダウンロードできる。

◇母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査について

標記については平成24年8月末の報道を契機に、国民の間から大きな関心が寄せられており、社会問題化していることから、3月9日、都市センターホテルにて日本医師会、日本医学会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本人類遺伝学会と共に合同記者会見を開催し、共同声明を出した。会見では当面の間、臨床研究として行われること、施設の認定・登録は新しく日本医学会に発足した「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会で行うこと等が発表された。詳細は日本医学会ホームページに掲載。